

# 土佐清水を深掘りしたくなる道の駅



## コンセプト1 やってきたひとたちを 送り出す道の駅

土佐清水は通過地ではなく最果ての目的地。そんな場所にある道の駅は、自分自身が主役になって客足を引き留めること以上に、やってきた人たちを土佐清水の知らない場所へと送り出す存在であってほしい。

## コンセプト2 地元のひとりひとりにも 価値を生む道の駅

土佐清水のあちこちや、あれこれ面白そうなもの・ことを見つめなおし、主役になれる舞台を用意する場所。地元のひとりひとりにとってもこれまで気づかなかった価値を認識し、新たな価値を生む場所であってほしい。

## コンセプト3 設置・運営するみなさんが 挑戦できる道の駅

縁の下の力持ち、設置・運営するみなさんの頑張りを後押しするような場所。疲労困憊することなく、「土佐清水のあちこちを主役にする」ことに集中できる道の駅をともにつけていきたい。

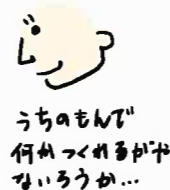
SATOUMI に来た人、お遍路の人が、「また土佐清水に来たい」「もう1泊したい」と感じる道の駅。地元の人が「こんなもんあったがや」と再発見し、深掘りしたくなる道の駅。わたしたちチームが提案するのは、「土佐清水のあちこちを主役にする」そんな場所です。

### 新施設と地域観光 について (課題ウ)

#### A. 新施設は、地域事業のブースター役

「食」をはじめとして、地域の個人・事業者の力(エンジン)を押し上げる(ブーストする)プロジェクト実践の場をデザインします。

- ① 小規模加工場を機能拡張していく「共用キッチン」
- ② グランピングランチ・ムーブメントの仕掛け「グララン」
- ③ SATOUMIや海ギャラ向けの「出張グララン」
- ④ 6次産業化商品やめじか商品を推す「旬のプロダクト棚」



#### B. 新施設は、景観・建築ツーリズムのアプローチ役

土佐清水を体現する景観・建築のエッセンスを抽出し、ジオパークや新たなツーリズムへの着目をデザインします。

- ① 唐人駄馬 / 松崎・津呂・布にも駄馬 → 背景となる地形
- ② 森を縫う道程 / 津呂の生垣 / 節納屋 → 豊かな地域樹
- ③ 海ギャラ / 海底館 / 清水高校格技場 → 時代を映す果敢な構造デザイン
- ④ 吉福家住宅厨子2階 / 谷を縫う道程 → 視線の先のV字景観

あらためて見たら面白いわね...



#### C. 新施設は、ツーリズムの型の拡張役

SATOUMIや海底館の「通過型」、スノーピークの「滞在型」、この中間的な存在として「滞留」できる場所をデザインします。

- ① 目的(消費・体験)が魅力的でまた来たく核の存在
- ② 目的(消費)なしでも居心地よく過ごせる場(体験)の点在
- また、他の地域内観光施設との連携のあり方(同業種との差異化・共存、同業態との品質バランス)を明確にし、地域観光の相乗効果を狙います。
- ③ 同業種施設(下川口家や飲食店等)の親しみやすいローカルさ
- ④ 同業態施設(SATOUMIやスノーピーク等)の洗練されたローカルさ

何かまた来たんかな? 楽しみ...

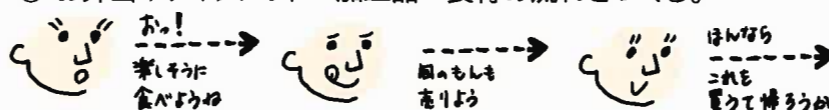


### 飲食・販売エリアの重視した点 (集客対策含む) について (課題ア)

#### D. 「食」への期待感を高める空間配置とする

旬のものや独特な料理法、その土地の食があつてこそ、旅の満足度は高まります。そうした「食」への期待感に空間として応えます。

- ① 国道入口から食事風景が目飛び込み、場を印象づける。
- ② 屋外マルシェや共用キッチンで表側を活気づける。
- ③ お弁当やテイクアウト→加工品→食材の流れをつくる。

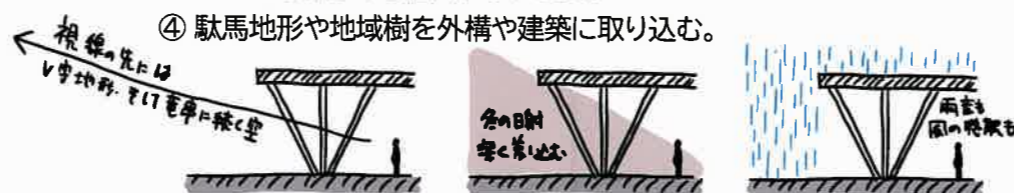


#### E. 土佐清水の自然を「食」体験の一部にする

地形は旅の背景として記憶に残り、気候は食材を育みます。土佐清水の自然を食事風景に溶け込ませます。

- ① 南方向・北方向のV字地形に視線を向かわせる。
- ② 冬場の温暖な気候を体感できるよう日射を取り込む。
- ③ 雨の日も楽しめる屋外テラスを設ける。
- ④ 駄馬地形や地域樹を外構や建築に取り込む。

食も自然も楽しめる道の駅かな!



#### F. 届けるべき商品が届く場づくりをする

地域の生産者や事業者から託された商品を、来訪者に手に取っていただきやすいよう、運営者のみなさんとともに知恵を絞ります。

- ① 商品の特徴にあわせた仕器をデザインする。
- ② 商品の魅力を引き出すサインをデザインする。
- ③ 非ローカル商品(自販機等)を集約する。
- ④ 搬入・保管・作業スペースを適所配置する。



### ランニングコスト (施設改修による人件費削減効果含む) について (課題オ)

**人件費:** スタッフエリア(レジ・観光案内・事務・厨房・休憩室等)を集約して、少人数でも効率的に施設運営ができるようにします。

**空調コスト:** 土佐清水は冬場であっても太陽光が注げば暖房いらずの土地。断熱と蓄熱、そして夏場の日差しをコントロールします。

**照明コスト:** 製品や空間の特徴にあわせた光の計画では、自然光を重要な要素として考え、人工照明頼りにならないようにします。

**清掃コスト:** トイレや外構は魅力を高めると同時にコスト削減の要。梁材の見えない空間、植栽の整理、既存施設の活用で清掃範囲を絞ります。

**修繕コスト:** 湿気の多さ、日射の強さ、台風の来襲を材質はもとより通気や遮蔽でかわして修繕サイクルを長くします。

### 新型コロナウイルス感染症対策 について (課題イ)

空気が滞留する場所を設けない、感染拡大期の出入りをコントロールできるエントランス、機械換気のほか自然換気も重視する等、コストをかけないでも建築的な工夫で効果的に対策できるようにします。

### HACCP について (課題エ)

飲食や物販の業界団体が作成したマニュアルを参考にするとともに、保健所に指導をおおぎながら設置者・運営者のみなさんとHACCPが実践しやすい施設づくりを行います。

### 本業務の受託金額及び建設工事費 (想定) について (課題カ)

主要構造を木造とすることで、地盤調査・地盤改良・躯体工事費を削減します。削減分での屋外「グララン」、臨時駐車場、トイレやメイン駐車場改修といった道の駅関連施設の一体的再整備により、空間体験の質向上とランニングコスト軽減を提案します。

受託金額: 14,663千円  
建設工事費: 2億2千万円(必要に応じて追加資料を提出) 周辺再整備費: 3千万円





屋根と柱で作る風景のような建築

国道から道の駅正面に見えるのは大きな二つの切妻屋根。そして地面から伸びた、屋根を支える伸びやかな木の柱。この道の駅はそんな屋根と柱といったシンプルな構成要素で作られます。それらは周辺の豊かな森から着想を得ています。森の稜線を施設に投影し、棟と谷を強調した屋根を構成させ周辺の山並みと繋がります。3本柱で1つのユニットを作った柱は森を構成する樹木の幹に見立て、それらが連続して配置される事で施設の構造と施設内での人々の振舞いを支えます。

建築を作る極めて根本的な要素である屋根と柱、そして機能的に最低限必要なシンプルなボックス空間。それらの要素をそれぞれ独立させ組み合わせる事で新しい建築の形を目指しています。土佐清水の食、そして豊かな自然。そこには土佐清水でしか感じられない特性が存在します。時代は変化しても人と人、人と地域、そして人と自然との繋がりは切り離せるものではありません。そんなこの地域の特性や

新しい未来をも受け止める一つの揺るぎない大きな風景のような建築であってほしいと考えています。



出店者利用からスタートし、

徐々にプログラムを拡張  
例えば…  
館内出店者による利用  
キッチンカーや屋外マルシェでの利用  
料理家インレジデンスによるメニュー開発  
地場食材を生かした観光客向け料理教室  
ワーケーション滞在者の共同キッチン  
地域団体のケータリング等…



イメージ:フードコートのオープンキッチン

A1 C1 D2 共用キッチン

少人数スタッフでも

大人数対応可能でシンプルに  
仕様は…  
大型バス2台に対応できる席数  
ビュッフェも想定した駄馬型テーブル  
死角のないシンプルな空間

C1 C2 E1 E2 飲食エリア

精米設備の修景

B1 B2 E4 F1

駄馬+地域樹

植栽や建築・什器に

見立てのデザインをする

実物は…  
外:低木+カシヤシイ(広葉樹)  
内:テーブル+ヒノキヤスギ(針葉樹)  
什器+ヒノキヤスギ(針葉樹)



イメージ:見立ての植栽と見立ての建築・什器

厨房の稼働時間をフル活用して

ケータリングに対応  
配達先は…  
SATOUMIの2階展望デッキや桜浜  
海ギャラのテラスでのグループ利用等



イメージ:桜浜と海のギャラリーのテラス

A3 C4 出張グララン

ケータリングOKな  
厨房と搬入経路

きちんと製品化されたものを

ツーリズム品質で届ける  
効果は…  
地元事業者の商品開発活性化  
観光客やバイヤーへ向けた集中展開  
地元からも高品質プロダクトへアクセス



イメージ:道の駅まじこの特設棚

A4 C1 C4 F1 旬のプロダクト棚

土佐清水食品  
正面玄関からの  
見え方に配慮

アプローチしやすい場所に

お弁当やテイクアウト配置  
目的は…  
食への期待感を高める  
家族や小グループのグランピングランチ  
連休や夏休みのオーバーツーリズム対策



イメージ:駅や道の駅の気分高まるお弁当

A2 C1 D2 D3

グランピングランチ  
のための販売エリア



B4 C2 D1 E1 E3

屋外マルシェ

干物・じゃこ・文旦等ローカルな  
美味しいものを提供

運用は…  
定期的に地域の事業者さんが出店  
旬のもの、新商品などをアピール  
ツーリスト目線の設えを道の駅が提供

C1 C4 F1 F2

物販エリア

いつ来てもワクワク感ある  
ラインナップと見せ方

だからこそ…  
事業戦略にそったレイアウト更新  
訴求力のあるPOPやサイン  
飲食エリアと連動する商品開発



イメージ:商品に応じた什器やかこのデザイン

これも検討してみませんか？

トイレや駐車場、芝生広場等の既存施設も含めて一体的に再整備し、道の駅全体のイメージアップと同時にランニングコスト削減。

ア. 今後不足が懸念される駐車場。北側芝生広場に臨時エリアを整備。舗装により芝生維持管理コストを削減。

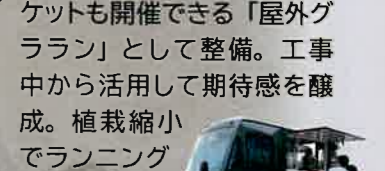
イ. バックヤードを充実させるため、搬入経路を確保(トイレ北側経路も検討)。既存食堂は本体工事完成後に解体し、搬入エリアとして整備。

ウ. 快適で使いやすい屋外トイレに改修。既存活用により清掃コストを削減。



エ. メイン駐車場は白線引き直しやEV充電設備移設等必要最小限のリニューアル。

オ. 東側芝生広場をキッチンカー乗入れ可で野外マーケットも開催できる「屋外グララン」として整備。工事中から活用して期待感を醸成。植栽縮小でランニングコストを削減。



カ. ロゴや屋外の看板・案内板等を刷新し、リニューアル感を高める。